



第3区総支部長  
**三日月大造**



# 県政刷新! くのりまなぶ 九里学

## 栗東で生まれ育ち、栗東で活動する

私は、栗東町(現栗東市)東坂に生まれ、金勝小・栗東中・栗東高校(第6期生徒会長)と約18年間を栗東で過ごしました。高校卒業後は、龍大学経営学部へ進学し、大和ハウス工業東京支社に勤務しました。その後地元へ戻り、**栗東芸術文化会館さきら、歴史民俗博物館、市民体育館等で芸術文化・歴史民俗・スポーツ振興事業に携わりました。**1995年阪神大震災の震災孤児に寄付するため、おうみフリーマーケット実行委員会を設立し、以来『もったいない』からはじめよう』を合い言葉に循環型社会の構築を目標に、滋賀の各地のまちおこしや環境問題に取り組んでいます。栗東音楽振興会・金勝小学校PTA副会長・金勝地域振興協議会・滋賀県ラグビーフットボール協会所属リゲルサントス他生活者の視点で行動する』を行動理念として、長年地域の文化スポーツ・ボランティア活動に関わってきました。



## 栗東から変える!

今、硬直化した栗東には元気・勇気・本気が必要だと考えます。ひたむきに、身近なことから地道に取り組むことの大切さが必要なのです。私は県民の皆さんに二つの宣言をします。  
①「子育て環境日本一宣言」(安心して子どもを育て、心豊かに暮らしたい)②「県政ガラス張り宣言」(目に見える、県民のためのオープンな政治の構築)です。そのためにはI生活者の視点で行動することの大切さ(新幹線新駅は速やかに凍結)、II県民の声を活かした環境保全・教育福祉の充実・産業の活性化(ひとに関わる分野に予算を投資)III豊かな自然・歴史・文化を活かしたまちづくり(「水」「食」「大地」をキーワードにした元気なまちづくりの構築)に心がけています。県と市と生活者のパイプ役として、引き続きがんばります。あたたかみのあるまちづくりへの挑戦(トライ)の笛は今鳴ったばかりです。



## profile 九里学

民主党 滋賀県第3区総支部幹事  
昭和38年7月23日生まれ  
龍谷大学経営学部卒業  
民間会社勤務を経て、栗東芸術文化会館さきら、栗東歴史民俗博物館、市民体育館などで芸術・文化・スポーツの振興事業に数多く携わる。ボランティア活動など数多く経験。趣味はラグビー、音楽鑑賞、家庭菜園など

<http://www.9ri.jp/>

国政・県政報告会  
2007年5月13日(日) 11:00~ JR栗東駅駅頭



## 揺れる栗東市を立て直す!

新幹線新駅そしてRD産廃と栗東がゆれております。いま大事なことは、市民にとって早急に不安を取り除き、安定を取り戻すこと。栗東市においては、もっとやらなければならない政策があります。「まちづくりの基本は人づくり」。地域の安全・安心、とくに栗東の明日を担う子ども達のために子どもの笑顔いっぱいのもちづくりの施策が最優先です。「住んでいてよかった」「安心して働ける」「働いてよかった」と実感できる栗東市をつくるために、粉骨砕身がんばります。ご支持・ご支援よろしくお願ひします。

<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~kuniatu/>

## 栗東市 市政レポート



## 愛・命育む栗東をつくるために

子どもたちは今、未来に向かってかけがえのない個性を發揮し、また可能性を伸ばして自分らしく生きています。そんな子どもたちを私たちは真に見守ってあげなければなりません。1. 健やかな成長のために、安心安全な教育・保育の場の充実を図ります。2. 学童保育の充実など働く親の安定した子育てを最大限支援します。3. 高齢者の皆様が安心して暮らせ、生きがいある街づくりを行ないます。今後とも、初心を忘れず林よしおらしく全力で取り組んで参ります。一緒に活動してください!!

<http://blog.goo.ne.jp/yossey823920/>

# Biwako Manifesto 2007

## 子育て環境日本一宣言!

**1 歩道整備の推進**  
歩行者やベビーカー、自転車等が安心して通行できるよう、安全性確保の観点から、歩道整備の推進をはかっていきます。  
歩道設置率 **38%** (全国平均を大きく下回る) → **目標 50%**

**2 「子育て保険」制度創設の提唱**  
社会全体で子育てに関する費用を負担していく観点から、介護保険の仕組みに似た新たな保険制度となる「子育て保険(仮称)」制度の創設を提唱し、子育ての社会化を推進していきます。

**3 外郭団体の半減**  
持続可能な滋賀県づくりを行うため、行政のスリム化に取り組みます。特に、外郭団体については自立化を促進し、現状の半分の外郭団体は、廃止または県の関与を行わないこととします。  
外郭団体 **37団体** → **半分を廃止** または 県の関与を行わない

**4 子ども政策の一元化**  
子どもに関連する政策は、県の行政機構ではいくつもの部署にまたがっています。縦割り行政の弊害をなくし、包括的な取り組みが可能となるよう、県行政に「子ども家庭部」を新設し、子ども政策を一元的に立案・遂行します。

**5 非正規社員の雇用改善**  
働き方や雇用形態に関わりなく、誰もが均等な待遇を受けられ、家庭生活も大切にできる環境を作っていくための理念を定めた、「労働者の均等待遇推進基本条例」の制定をめざします。

**6 中小企業の活性化**  
中小企業を滋賀県の地域経済発展の主役と位置づける「滋賀県中小企業振興基本条例」の制定をめざします。

**7 小児医療の充実**  
全国的に病院の小児科・産婦人科の廃止や小児科・産婦人科医の不足が問題となるなか、医学部学生への県独自の修学資金貸付制度の創設により、小児医療を支える医師の確保に努めていきます。

**8 教育費の負担軽減**  
学習塾などに通わなくても、きめ細かな指導によって確かな学力が身につけられるよう、県内の小学校の全学年が35人以下学級となるようにします。

**9 子どもの安全確保**  
県内すべての公立保育所・幼稚園・小学校にプロの警備員等を常駐させることにより、学校内や通学路での子どもの安全を確保します。

**10 議員の「口利き」の文書化**  
議員から県職員へのいわゆる「口利き」は、すべて文書として記録・保管し、公開します。

医師数	10万人当りの数
滋賀県	97.0人
全国平均	89.2人
小児科医	8.0人
産婦人科医	10.9人